

令和3年度事業報告書

1. スポーツ振興事業

(1) 新庄市総合体育大会

新庄市の委託を受け、新庄市総合体育大会実行委員会を組織し、第43回新庄市総合体育大会を開催した。

開催は体育協会から実行委員会に委託費全額を交付し、競技団体と体育協会が8月から2月までに14競技の開催を計画したが、昨年度に続き新型コロナ感染拡大の影響により3競技種目で開催中止（前年度7種目中止）となった。前年度中止したバレーボール、野球、柔道、剣道、合気道の5種目は開催でき、昨年開催したソフトボールが中止、バスケットボール、スキーの2種目は昨年度に続き中止となった。また、開催した11競技種目においても規模縮小等の感染対策を講じながらの運営となり、参加選手869名、審判役員210人、参加者総数1,079人（昨年度69人増）にとどまり、コロナ前の平成30年度に比べ802人と大きな減少となった。

競技種目	開催期日	会場	参加選手数
バレーボール	R3. 8. 8	新庄市体育館	109人
サッカー	R3. 8. 8	新庄市体育館 八向サッカー場	75人
野球	R3. 8. 21	新庄市民球場	41人
柔道	R3.12. 12	新庄市武道館	56人
ソフトボール	実施を計画したが、コロナ感染防止のため中止。		
弓道	R3. 10. 10	新庄市武道館弓道場	53人
剣道	R3. 10. 10	日新小学校体育館	52人
空手道	R3. 10. 17	新庄市武道館	57人
バドミントン	R3. 10. 10	新庄市体育館	193人
ソフトテニス	R3. 10. 10 R3. 12. 5	新庄市テニスコート 新庄市体育館	93人
合気道	R3. 10. 31	新庄市武道館	22人
卓球	R3. 11. 21	新庄市体育館	118人
バスケットボール	実施を計画したが、コロナ感染防止のため中止。		
スキー	実施を計画したが、コロナ感染防止のため中止。		

選手869人

◇要した経費 新庄市総合体育大会実行委員会負担金 915千円

《成果と課題》

- ・新型コロナの影響による中止が3競技種目減少し、規模を縮小するなど感染防止対策をとりながら11競技種目で開催できた。開催を原因とする感染者を出すことなく、幅広い年代の参加者が競い合う機会を提供できたことは成果であり、開催された競技団体の努力と、また、中止せざるを得なかった競技団体の開催に向けた努力に心から感謝します。
- ・ウィズコロナの中、感染防止と大会開催の在り方を検討する必要がある。

(2) こども・はばたき事業

■ 幼児期からのACPの推進

子供の体力低下や運動離れは全国的に大きな課題となっています。これは、室内遊びの増加や遊ぶ相手がいないなどから夢中になって体を動かせる「外遊び」の減少が、一番の要因と考えられています。新庄市体育協会は、子どもの時期によく遊び、よく運動していろいろな体の動かし方を身につけ、汗をかくことの爽快感を感じ取ることが、生涯を通じて運動を取り入れた健康的な生活に繋がると考え、アクティブ・チャイルド・プラン＝ACPに取り組んでいます。

令和3年度は、コロナ感染拡大の影響から指導者研修への派遣は中止したが、はばたきクラブは感染防止対策を講じて概ね計画のとおり活動を行った。

■ はばたきクラブ

日頃運動する機会の少ない子供（スポーツ少年団未加入等）を対象に、平成29年度から日新小学校の協力を得て同校3・4年生児童を対象に「日新はばたきクラブ」を立ち上げ、活動を始めました。

令和3年度からは日新小学校に加え、新庄小学校の協力を得て「新庄はばたきクラブ」を立ち上げて、2校の児童を対象にして活動を広げることができました。

感染防止対策から子供達には様々な活動制限があり、体を動かす機会が普段より減っているこの時期に運動の機会を提供したいと考え、両校と連携して感染防止対策を講じたうえで、「走る・飛ぶ・投げる」を中心にした遊びで、2週に1回、1回90分程度、思い切り体を動かす楽しさを感じてもらふ事を主眼にした内容としました。参加した児童は、毎回夢中になって遊び、運動し、次を楽しみにしているなどの声を多く聞く事ができました。

また、令和3年度は協会職員のほかに、趣旨にご賛同いただいた市スポーツ指導員と外部指導員の合計6名の方から協力を頂き、活動を支援していただきました。

[活動概要]

①クラブ会員数	新庄市立日新小学校	12名		
	新庄市立新庄小学校	10名	合計	22名
②入会費	2,000円	:	月会費	300円
③活動日程	通常活動：6月～2月：日新小（水曜日）	12回		
		新庄小（水曜日）	11回	計23回
	親子行事：10月9日（土）	1回	※計画した2回目（2月）	中止
④指導	最上教育事務所社会教育課・地域おこし協力隊・日新白鳩バレー・SMAC・新庄ラグビーフットボール・新庄市スポーツ指導員・新庄市体育協会指導員及び事務局員			



《成果と課題》

新庄小学校1校を増やして活動範囲を広げられたこと、コロナ禍の中、感染対策を徹底して期間中トラブルなく進められたことが成果として挙げられる。

元気に動き回る子ども本来の姿が見られ、また、児童からは、活動の日が「楽しみ」という声を多く聞き、父兄からも高評価を得られた。また、指導面ではACPの訓練を積んだ職員その他、外部指導員の協力体制を得ることができ、更なる活動の充実に展望を持つことができた。

しかし、親子が一緒にスポーツに親しむ機会としての「親子行事」を1回中止したこと、研修会を開催できなかったことは残念であった。

◇要した経費 はばたき事業 190千円

(3) 自主事業の実施

①健康ウォーキング 健康の維持増進を目的に、ウォーキングが習慣となるよう「ウォーキング日誌」を体育施設や他の市施設に配置し、取組んだ市民が自ら設定した目標歩数、年間50万歩、100万歩、200万歩の挑戦コースを設定し、完歩者に認定証を交付した。

10名の新規認定者数があったが年々減少している。ウォーキング日誌を利用して楽しむ市民は多くいるが、認定申請に結びつかない状況であり、認定が習慣付けの励みとなるようPRに努めていく必要がある。

・完歩達成者（認定者）

(H28)16人 (H29)16人 (H30)13人 (R元)14人 (R2)11人 (R3)10人

② あべじゅ〜体操

50歳以上を対象に、「あべじゅ〜体操」として介護予防を目的に考案された「いきいき百歳体操」と「かみかみ百歳体操」を4月から通年、毎週月・木曜日に、参加者の自主性を尊重しながら実施した。

実施回数92回(68回)・参加者数 延べ851人(694人)

一回平均参加人数9.25人(10.2人) ()内は前年度実績

内 容 いきいき百歳体操40分：かみかみ百歳体操40分
体力測定2回(6/23：12/2)

成 果 等 昨年度比で実施回数、参加延べ人数ともに増加し、利用者が楽しみにして参加している。体力測定では前回記録と見比べながら体力維持に意欲をもって参加しており、ニーズが高いことが窺える。体力の維持とともにコロナ禍の中で外出・会話することで気分が良くなったなどの評価を得られた。



③ エアバレーGAME in新庄

目 的 働きざかり、子育て世代を中心に、思いっきり体を動かす機会を提供し、仲間とともに体を動かす楽しさ、爽快感を感じて、心身の健康を目的に実施した。

内 容 ビニールボールを使用したバレーボール形式のゲームを実施。ハロウィンの仮装参加を促し、「楽しむ」運動を第一に時間短縮を図って実施した。

期日場所 令和3年11月3日(水・祝日)：市体育館

参加者 12チーム(7減)・110人(29人減)



成 果 等 コロナ禍の中で参加団体数、参加人数が前年度を下回る結果となった。検温、消毒、ソーシャルディスタンス、換気の感染対策を講じたうえで、市スポーツ推進員3人の協力を頂きスムーズな大会運営ができた。郡外の参加が減少した一方で郡内の参加が増え、参加者からはコロナ禍の中で楽しみながら運動できたことに高評価を得られた。感染防止対策を徹底し、大いに賑わったイベントとする事ができ、所期の目的を十分に達成できた。

④ スポーツフォトコンテスト(試行)

目 的 コロナ禍でスポーツの活動が制限される中で、スポーツの魅力、体を動かす喜びを捉えた写真展を開催し、スポーツに対する意欲の維持向上に貢献する。

内 容 新庄写真連盟の協力のもと、6月下旬から1か月間、最上郡内におけるスポーツ活動(競技・レクリエーション等)に関する写真を公募し、会長賞、新庄写真連盟会長賞等の7点の受賞作品を決定し、応募作品を新庄市体育館、新庄市民プラザ、新庄駅自由通路に展示した。





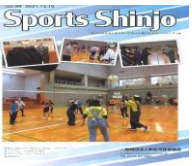

応募数・所感 応募点数56。作品は部活動、グランドゴルフ等々様々な年代から応募があり、喜びやくやしさ、爽快さ、一瞬の体の動きが捉えられていた。写真を通じてスポーツの良さを伝えられる作品展示となった。

※ 実施できなかった事業・イベント

マジカルスノーランド・トランポピクス・青空ヨガ・サッカーフェスティバル

◇要した経費 市民スポーツ事業 169千円

(4) 広報活動

	発行月日	主な内容	
No.33	R3.6.10	<ul style="list-style-type: none"> あべじゅー体操参加者インタビュー 特集 体育施設管理・新庄市テニスコート編 スポーツフォトコンテスト実施要領と募集 施設の利用申請の注意事項 新庄市体育協会年間行事予定 スポーツ少年団決意表明・お知らせ 	
No.34	R3.8.11	<ul style="list-style-type: none"> 北信越総体2021（全国高校総体）出場者紹介 全国高等学校定時制通信制体育大会出場者紹介 インターハイに向けての決意（出場者4名） 特集 体育施設管理・新庄市民球場編 第43回新庄市総合体育大会日程・お知らせ 	
No.35	R3.12.10 オールカラー	<ul style="list-style-type: none"> 2021-2022 SEASON 市民スキー場情報（料金表・営業日・営業時間・イベントと施設案内） 2021エアバレーGAME in 新庄 タグラグビーをやってみよう！！・お知らせ 	
No.36	R4.3.25	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度新庄市・体育協会体育表彰式 体育表彰者 ・新庄市総合体育大会結果一覧 健康ウォーキング参加者インタビュー 地区体協共催事業 北都銀行バドミントン教室 市民スキー場利用者の声 ・お知らせ 	

《成果と課題》 SNSなど通信媒体が多様化する中、紙媒体の広報を手にとって見てもらえる内容とするため職員が主体的に検討し発行した。特にわかりやすく、簡便な記事にして、興味を持ってもらえることを念頭に検討し、問い合わせ等の読者の反応が寄せられるようになった。まずは、「伝わる形」にして情報を発信していくことがポイントであり、これを基本に表彰受賞者や競技スポーツ・軽スポーツに取り組む多くの市民を紹介するなどスポーツ情報や運動する場所の提供者として、身近ないきいきとした情報提供になお一層努力する。

◇要した経費 広報事業 496千円

(5) 賛助会員(スポーツサポーター)制度

令和3年度は、前年度に続き会費をお願いできる経済環境ではないと判断し、会員募集を行わず、繰越金の事業への充当も行わなかった。この結果、2年度からの繰越金額153,920円がそのまま令和3年度収支差引残となり、同金額を令和4年度に御繰り越す。

《1-2》育成強化、競技力向上に関する事業

(1) 育成強化事業費交付

令和3年度は、競技団体8・学校体育団体2、計10団体（1団体減）に対し育成強化事業費を交付した。コロナ感染対策により計画通りに進められず、スキー、自転車、バドミントン、ソフトテニス、空手道、柔道、中体連から交付金の返還があった。

競技種目名	交付額	返還額	強化事業実施の状況（報告より）
空手道	145,000	0	基本動作・形・組手講習会／県トップアスリート強化事業への参加／山形空手道連ジュニア強化練習会への参加
剣道	150,000	0	強化育成練習会／基本技稽古法講習会／地区強化錬成会
弓道	150,000	0	強化錬成会／弓道教室開催／指導者講習会
サッカー	150,000	0	新庄トレーニングセンター開催／指導者養成
スキー	150,000	29,778	ポールレッスン／ジュニアバッジテスト※ジュニアレッスン中止
自転車	150,000	55,926	遠征強化育成練習（秋田県美郷町・岩手県紫波町）※遠征計画の縮小
バドミントン	150,000	150,000	※新庄地区バドミントン協会強化練習会中止
ソフトテニス	150,000	150,000	※新庄地区育成協会強化練習会中止
小体連	110,000	0	陸上競技記録会（サッカー・空手の一部中止）
中体連	140,000	53,720	バドミントン強化練習会・サッカー強化練習会中止・空手育成事業の内容変更
計	1,445,000	439,424	確定交付額＝1,005,576円

◇要した経費 競技団体育成強化事業費 1,162千円

《成果と課題》

- ・計画した10団体に強化事業費1,445千円交付したが、コロナ感染対策による活動制限から計画事業を実施できず2団体が全額返還、計画事業の縮小により3団体が一部返還となった。事業実施報告から、中止となった団体も含めて、常に感染状況に注意を払いながら実施可能な強化事業に取り組まれた努力が充分うかがえる。ウィズコロナとなる中で、感染防止対策での事業実施にどう取り組むかが課題である。

（２）スポーツ少年団育成事業

◇令和3年度登録状況

			R元	R2	R3
単位団			34団	32団	32団（±0）
団員	小学生	男	320	292	300（8）
		女	186	167	184（17）
		計	506	459	484（25）
	中学生	男	35	42	60（18）
		女	35	44	48（4）
		計	70	86	108（22）
	高校生	男	0	1	1（±0）
		女	1	1	1（±0）
		計	1	2	2（±0）
計			577	547	594（47）
指導者	指導者（有資格者）		158	126	115（▲11）
	役員		31	15	12（▲3）
	スタッフ			38	38（±0）
	計		189	179	165（▲14）

令和3年度競技種目別登録団

1. バスケットボール（6団・152人）

- ①萩野ミックスピッキーズミニバスケットボール
- ②日新ミニバスケットボール
- ③八向
- ④新庄ミニバスケットボール
- ⑤萩野MBS
- ⑥明倫バスケットボール

2. 軟式野球（4団・77人）

- ①日新レッドスターズ
- ②新庄ビクトリーパワーズ
- ③萩野フルスインクス
- ④明倫グリーンベレーズ

3. ソフトテニス（2団・43人）

- ①新庄ソフトテニス
- ②新庄ジュニアソフトテニス

4. 柔道（4団・40人）

- ①日新柔道
- ②新庄地区柔剣道錬成会
- ③丹野道場
- ④神室柔道

5. 陸上（1団・27人）

- ①SMAC

6. バドミントン（5団・97人）

- ①沼田バドミントン
- ②日新バドミントン
- ③新庄バドミントン
- ④奥羽ジュニアバドミントンクラブ
- ⑤MSC

7. サッカー（3団・64人）

- ①泉田サッカー
- ②日新サッカー
- ③新庄グランツSC

8. バレーボール（3団・19人）

- ①日新白鳩バレーボール
- ②新庄なでしこバレーボール
- ③MBSバレーボール

9. 剣道（2団・39人）

- ①新庄地区柔剣道錬成会（柔道と複合）
- ②東山錬成会

10. 空手道（2団・29人）

- ①新庄市空手道
- ②萩野空手道

11. ソフトボール（1団・8人）

- ①リトルスラッガーズMSC

〈会議〉

①本部員会の開催

第1回本部員会 書面決議 令和2年度事業報告、役員改選の特例・事業計画

第2回本部員会 Web会議 令和4年度事業計画・報告（体育表彰・事業報告・登録状況等）

②正副本部長会議（運営員会合同会議）

第1回 令和3. 9. 17（コロナ禍におけるスポーツ少年団活動）

第2回 令和3. 12. 17（指導者・育成母集団研修会・県広報誌掲載記事）

第3回 令和4. 2. 25（令和4年度事業計画・結団式・スタートコーチ養成講習会）

〈行事〉

①新庄市スポーツ少年団結団式及び地域貢献活動「スポGOMI in 新庄」

・新庄市スポーツ少年団結団式は感染拡大により集合形式は取りやめ、体協HPで各団抱負を23団が動画で公開した。

・スポGOMI in 新庄スポゴミも動画による参加方式で実施。

期間4月20日～29日・参加者数128人

②スポーツ少年団育成助成金 32団体に一団につき2,000円の育成助成金を交付した。

③山形県少年少女スポーツ交流大会：10月3日の予定・・・新型コロナ感染対策により中止

④山形県スポーツ少年大会・Jrリーダーズスクール

7月30日～8月1日飯豊少年自然の家の予定・・・新型コロナ感染対策により中止

⑤指導者・育成母集団研修会

11月13日新庄市エコロジーガーデン開催（新庄市から正副本部長・事務局員）。

日本スポーツ少年団顕彰 菅原 秀氏

山形県スポーツ少年団表彰 元木真澄氏

講演「コロナ禍における団員とのかかわり方」 講師 沖 和砂（会津大准教授）

⑥新庄市スポーツ少年団指導者・育成母集団研修会 オンライン研修

サテライト会場：新庄市役所東庁舎 1階会議室

「女性アスリートとコンディショニング（生理を知ってパフォーマンスアップ）」

講師 井上聡子氏（さとこ女性クリニック院長）

受講者数 女性24人 男性5人 計29人

◇要した経費 851千円

（内訳） 山形県本部登録料597千円／各団への活動助成金64千円／県スポ少最上地区協議会負担金30千円／本部事務費160千円

《成果と課題》 令和3年度も新型コロナウイルス感染防止対策により、事業のほとんどが中止又はリモート開催になり、結団式及びスポ GOMI 活動は各団より動画での配信とし、取りまとめた内容を「DVD」にして各団に配布を行った。更に、少年少女交流山形県大会も二年連続で中止せざるをえない状況で、令和4年度は是非とも大会開催を願うばかりであります。そうした中で新庄市スポーツ少年団指導者・育成母集団研修会で「女性アスリートとコンディショニング（生理を知ってパフォーマンスアップ）」を開催し、専門的な研修機会を得て誤った常識を改めるきっかけにできたと参加者からの好評を得た。男性指導者にも深めていただきたい領域である。

団員数は、令和2年度より47名増と少子化の中では各団の勧誘努力に感謝したい。また、認定員有資格者の更新期限が令和5年度中となっており、更新手続きの推進、ならびに新たに指導者を目指す方へのPRを交え、指導者の減少にならぬよう努めていきたい。

（3）強化育成事業

計画した強化育成事業は、講師が感染拡大地域からの派遣等であったこと、感染拡大時期と重なったことから、下記2事業をやむなく中止した。

①からだづくりセミナー

②野球教室事業

（4）体育表彰事業

表彰規程に基づき、スポーツ普及振興に功績のあった方（スポーツ振興功労賞）、各種競技大会において秀逸な成績を収めた方（殊勲賞・奨励賞）を表彰した。

表彰式は、新庄市と合同で令和4年2月19日（土）、市民プラザ大ホールでの開催を予定したが、コロナ感染拡大により中止した。なお、スポーツ振興功労者2名の方には3月4日体育館で表彰式を開催した。殊勲賞、飛翔賞は被表彰者宅に伝達し、受賞者を体協広報3月号で広く市民に紹介した。

〔功労関係〕 スポーツ振興功労賞 2名

〔成績関係〕 殊勲賞 48名（一般・大学生8・高校生31・中学生9）
7団体（一般・大学生1・高校生3・中学生3）

飛翔賞 21名（高校2・中学生5・小学生14）

1団体（小学校1）



◇要した経費 183千円（内報償費158千円）

《成果と課題》 コロナ禍の中、全国、県レベルの大会が規模縮小、無観客で開催され大会が増え表彰者は前年度より増加したが、国体中止もあり被表彰者の対象が平年より少

なくなった。また、表彰式を開催できず顕彰意義が薄れることとなったのは残念であった。顕彰することが少しでも競技者の励みに繋がれば有意義である。

《1-3》新庄サイクルスポーツセンター管理事業

令和3年度は、環境維持の作業としてフェンスの蔦除去、草刈を行った。また、3.11 東日本大震災で生じたバンクの亀裂の状況確認を行い、昨年と変わらない状況を確認した。

【平成31年3月31日廃止に至る経過】

東日本大震災により走路の一部が崩落し、平成25年7月末から貸出し休止とし、以後平成28年度に改修に向けて動き始めたが、崩落箇所の地質が軟弱であることが判明し、現所在地での改修工事を断念せざるを得ないと判断した。平成30年度まで施設内への立ち入り禁止措置、除草等の環境維持の作業に努めてきたが、理事会及び評議員会において「新庄サイクルスポーツセンターの平成31年3月31日廃止と減損損失」を決定し、同年度末14,708,756円の減損処理を行った。その結果、施設の残存価格は12円である。

《1-4》最上地区体育協会連絡協議会との共同事業

(1) 共同事業

①北都銀行バドミントン教室

目 的 高校生・中学生の競技力アップ
内 容 選手とラリー体験、模擬ゲーム、メンタルトレーニング
期日場所 令和3年11月28日(日)：新庄東高校体育館
講 師 北都銀行バドミントン部選手・コーチ13名(東京オリンピック出場選手含む)
当協会特別講師 剣持 路子氏
参 加 者 中学生23名 高校生20名 合計43名
所 感 参加者からは一流選手のスピード、正確さ、迫力・技術を直に体験でき、アップへの取組姿勢と重要性、事前準備の大切さが勉強となった等の感想である。数少ないトップアスリートとの練習機会で大いに刺激となり、技術、メンタル面の向上にも有意義な教室となった。



②Run Run Run (新規)

目 的 小学生の走り方の習得
内 容 ストレッチ体操、効果的なランニングフォームを習得するため用具を用いながら指導と実技を実施した。
期日場所 令和3年10月10日(日)：市陸上競技場
講 師 SMAC代表 栗田伸一氏 新庄最上駅伝チーム 北村氏・山口氏
参 加 者 43名
所 感 地区体育と当協会との共同事業として実施した。小学生にわかりやすく走り方の基本やフォームの実演、実技で日常的に取組める内容となった。



2. 施設管理事業

《2-1》新庄市スポーツ施設指定管理事業

1. 新庄市の指定管理者として、次の10のスポーツ施設を下記のとおり管理運営した。

◇市体育施設の利用状況一覧

施設名	項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
体育館	利用人数	36,839	34,673	25,383	28,778
	料金収入	3,367,475	1,718,780	1,062,020	1,139,460
市民球場	利用人数	27,006	28,769	19,086	26,428
	料金収入	2,371,400	2,483,110	1,280,850	1,172,920
武道館	利用人数	12,800	12,894	9,476	10,657
	料金収入	1,207,470	1,171,660	659,435	697,245
陸上競技場	利用人数	11,932	15,553	9,464	14,997
	料金収入	401,930	517,785	207,935	253,725
東山テニスコート	利用人数	15,932	16,279	10,858	14,873
	料金収入	2,057,500	2,116,400	766,510	1,068,930
福田テニスコート	利用人数	669	469	34	64
	料金収入	10,800	11,800	4,900	5,200
福田運動広場	利用人数	3,789	3,212	1,674	1,983
	料金収入	374,180	284,870	55,790	33,360
横根山運動広場	利用人数	393	82	235	529
	料金収入	17,000	4,250	0	3,000
市民プール	利用人数	4,715	4,343	0	2,808
	料金収入	586,500	565,580	0	148,320
市民スキー場	利用人数	9,930	1,334	9,868	11,543
	料金収入	4,084,200	317,500	3,879,200	4,452,150
総計	利用人数	124,005	115,838	86,078	112,660
	料金収入	14,489,455	9,191,735	7,916,640	8,974,310

(利用増減)

新型コロナウイルス感染対策により、各種大会の中止や規模縮小、また、施設利用の制限（市外利用、高校生以下の利用制限）が断続的に行われる中、利用者数、利用料金はともに前年度を上回り、利用者数はコロナ感染拡大前の平成30年度、令和元年度の水準に近づいた。また、利用料金額は令和2年度の利用率改正の影響があり単純の比較できないが、減収影響を40%減（各施設の過去の平均影響割合27%~60%）と見込み、コロナの影響が無くすべての施設が使用されていた平成30年度利用率総計を40%減額すると8,934千円となり、コロナ前の水準に戻ったといえる状況である。

○利用人数 前年度比30%増加となった。上半期（4月～9月）は、利用制限があった前年度と比較して約8割の利用増となったが、下半期は、コロナ感染が市内で拡大し始めた1月～3月に、各種大会等多人数利用の自粛、感染拡大地域からの利用停止や高校生以下の利用制限が影響し、市民スキー場を除く施設で前年度を大きく下回り、3割増にとどまった。ただし、市民スキー場は、冬季唯一の屋外スポーツ施設であり、降雪量も充分あり、料金改定により利用しやすくなった小中学生に同伴する親の利用が増加したことから、好調だった昨年度を上回り、平成26年度以来の11千人を超える利用者数となった。

○利用料金額 前年度比13%増加となった。利用者数と同様に、上半期（4月～9月）は、前年度比44%増となったが、下半期は、利用制限が影響し、市民スキー場を除く施設の合計利用料は前年度を13%減少した。市民スキー場は利用者数の増に応じて15%増となったことから下半期利用料は前年度比4.6%増となった。なお、市民スキー場利用料は利用料総額の5割を占めることとなり、降雪量に左右される施設のウエイトが高くなり過ぎている感を否めない。

市体育施設指定管理の収支は以下のとおり。

収 入		支 出	
指定管理料収入	103,314 千円	施設管理経費	108,416 千円
利用料金収入	8,974 千円	退職給付	696 千円
【収入合計】	112,288 千円	【支出合計】	109,112 千円
収 支 差 引	3,176 千円		

2. 指定管理業務の主な業務

- ①施設の使用許可、取消し、その他使用に関する業務
- ②利用料金の徴収、還付、減免に関する業務
- ③使用者の利用調整に関する業務
- ④使用者の安全確保に関する業務
- ⑤施設使用案内、業務の周知等、施設の使用促進に関する業務
- ⑥施設使用に関する統計記録事務
- ⑦施設並びに設備及び備品の維持管理・運営に関する業務
- ⑧行為の許可、使用の禁止または制限に関する業務

3. 施設管理にあたっては、特に次の点を重視した。

- 新型コロナ感染対策として市・県の通知、感染状況を踏まえて毎週職員連絡会議での周知徹底し、臨機応変に対応した。
- 各施設年2回の使用調整会議を行い、使用団体の事前希望をもとに案を示し、各施設の使用を円滑に調整するとともに、利用団体の声を聴取した。
- 多くの施設が経年劣化などのため修繕すべき個所を抱えている状況にあり、定期的な点検を実施後市に報告し、必要な注意表示など利用者の安全確保に配慮した。
- 災害・事故発生時に的確に対応できるようマニュアルを作成し、避難訓練を実施した。また、日常業務におけるヒヤリ・ハット情報を職員間で共有し、事故防止に努めた。
- 施設利用者の要望・意見・苦情には、必要に応じて市の助言を得ながら誠実に対応した。
- 施設内はもちろん建物周辺の環境整備に努め、利用者が気持ちよく利用できるよう努めた。
- 来客や施設利用者には、正確で分かり易い説明、誠実、丁寧な対応を職員全員が心掛けた。

《2-2》山形県最上中央公園指定管理事業

1. 平成27年度から29年度までの3年間、平成30年度から令和3年度までの4年間で山形県の指定管理者として最上中央公園（すぽーていあ含む）を適切に管理した。特に、新型コロナ感染防止、遊具の安全確保に留意して、利用者の安全確保、利用者の利便増進に努めた。

◇すぽーていあ利用状況・指定管理概要（利用人数は有料施設利用者のみ）

項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用人数	22,386	19,104	14,662	14,379
料金収入	3,018,120	2,963,075	2,691,430	2,574,912
指定管理料	21,452,000	22,528,000	21,845,000	21,115,000
その他の収入	758,291	614,055	407,405	489,909
管理経費	24,876,435	23,456,163	26,481,185	25,068,061
収支差引残	351,976	2,648,967	▲1,537,350	▲888,240

利用人数）令和3年度は、前年度比▲2%となった。前年度の上半期4,659人に対し、3年度は6,806人、46%増となった。例年利用が増える下半期は、前年度10,003人に対し3年度は7,573人、▲24%と大きく前年度を下回った。利用増となる降雪期

に、市内にコロナ感染が拡大したことが利用自粛とキャンセルとなり、施設閉鎖があった前年度利用者数を下回る事となった。

利用料金) 令和3年度は、前年度比▲4.3%となった。上半期では前年度比約65%の大幅増となったが、下半期では利用人数と同様に前年度比▲28%となり、大きく落ち込んだ前年度をさらに下回る結果となった。

管理経費) 令和3年度は、前年度比▲1,413千円となった。減少は修繕費▲367、消耗品費▲515千円、委託費▲635千円となり、増額は、給与、期末手当(4月)・法定福利等人件費で198千円増となった。

収支) 888千円の支出超過となった。その要因は、利用料金の減少で、特に繁忙期となる12月～3月の料金収入が伸びず、前年度金額を下回ったこと、

2. 自主事業

■スポGOMI in 新庄

コロナ感染防止のため、オンライン開催となった。

〔日時〕 令和3年4月29日(日) 9:00～

〔参加〕 37チーム・177人

■花と緑のまちづくり「せせらぎ花壇」植栽事業

〔日時〕 令和3年5月30日(日) 9:00～ 〔場所〕 最上中央公園「せせらぎ花壇」

〔参加〕 参加団体20 人数71

〔内容〕 昨年度から参加団体が水やりを実施することになり、その負担感から参加を見送る団体が3団体あり、参加団体数は20団体となった。当日は、検温など感染防止対策を講じて、開会行事を省略し、花壇への植栽が行われた。

■ウォールグリーンWORKSHOP

〔日時〕 11月23日(火) 10:00～12:00 〔場所〕 最上中央公園「すぽーていあ」

〔内容〕 12cm角の枠内にフェイスグリーンも用いて壁掛制作

〔講師〕 ハンドメイドクラフト作家 井上 圭子氏(新庄在住)

〔参加数〕 12名

〔成果等〕 緑をテーマにしたワークショップとして開催し、参加者はゆったりした感覚で楽しんで参加していただいた。公園の特性をわかりやすく活かして、草木を用いた事業も検討したい。

■タグラグビーをやってみよう

〔日時〕 11月13日(土)と同20日(土) 9:00～11:00

〔場所〕 最上中央公園芝生・「すぽーていあ」

〔内容〕 ボール渡し等による体の動き・タグ取りゲーム・ミニゲーム

〔講師〕 新庄地区ラグビーフットボール協会 柴田悟氏・武田広大氏

〔参加数〕 13日11名 20日26名 合計37名

〔成果等〕 鬼ごっこ中心の運動内容で、参加者から楽しかったとの感想で運動不足解消やストレス発散の目的は達成できた。



② 中止した事業

■SKATE JUNKIE

■かむてんサッカーフェスティバル

3. 他団体への協力

①第49回新庄雪まつり

親しまれる最上中央公園のPRを兼ね、主催者の協力団体として会場管理に携わった。

実施日 令和4年2月12日～13日 場所 最上中央公園
 主催者 新庄青年会議所 入場者 約69百人（主催者発表）

②雪国ワンダーランド

雪を観光資源として、スノーモービルで「バナナボート」をけん引して、乗車体験を通じて冬季の公園の利活用に供した。

実施日 令和4年1月18日～2月13日 場所 最上中央公園
 主催者 新庄市グリーンツーリズム推進協議会 利用者 3,494人

《2-3》新庄市都市公園管理事業

新庄市から委託を受け、次の30カ所の都市公園を適切に管理した。

最上公園 東山公園 歴史センター脇広場 八幡公園 福田緑地 中央公園
 金沢公園 末広公園 足達前公園 常葉町公園 谷地田公園 下田公園 新町緑地
 中道公園 千門町公園 沼田公園 中の川公園 金沢東公園 小檜室1号公園
 小檜室2号公園 横町緑地 玉の木緑地 上金沢緑地 往還東緑地 横根山工業団地緑地
 新田川河川公園 駅前ふれあい広場 駅東口交通広場 泉田川河川公園 西山河川広場

公園業務内容一覧

公園名	便所清掃（常時分）【週】	公園清掃【週】	パトロール【週】	ゴミ回収	遊具施設日常点検【月】	設置・撤去【年】	東屋・照明・樹木等雪囲い、ネット【年】	便所雪囲い設置・撤去【年】	遊具設置・撤去【年】	噴水池清掃【年】	草刈り【年】	除草剤散布【年】	法面草刈り【年】	早朝清掃【年】	害虫駆除【年】	便所雪下ろし【年】	雪下ろし【年】	遊具・東屋・藤棚	ゲート雪下ろし【年】	東口アレーナ・通路・	レットロビン剪定【年】	ツゲ・桐縁	藤剪定【年】	あじさい剪定【年】	プラタナス剪定【年】	砂場掘り起こし【年】
1 最上公園		2	2	1	2	2				4	2	4	12		2	2		1	1	1	1	1	1	2		
2 東山公園	2	2	2	1	2	2	2			4					2	2		1			1		1			
3 歴史センター脇広場			2		2					4	1				1	2		1	1	1						
4 八幡公園			2			2									2	2										
5 福田緑地		2	2		2					3						2		1					1			
6 中央公園			2	1		2	2			5				1		2								1	2	
7 金沢公園			2	1		2	2			5					1	2					1					
8 末広公園			2	1	2	2	2			5					2	2					1	1	1		2	
9 足達前公園			2	1						3						2									1	
10 谷地田公園			2	1	2	2	2			4					1	2										
11 常葉町公園			2	1	2	2	2			4					2	2							1		2	
12 下田公園			2	1		2	2			4					2	2						1				
13 中道公園			2	1	2	2	2			4	2				2	2							1			
14 千門町公園			2	1		2	2			4					1	2										
15 沼田公園			2	1	2	2	2			4				1	2	2								1		
16 中の川公園			2	1	2	2	2			4					2	2							1	1		
17 金沢東公園			2	1	2	2	2			4					1	2							1		2	
18 小檜室1号公園			2	1	2	2	2			5					1	2				1				1		
19 小檜室2号公園			2	1	2	2	2			4					1	2				1				1		
20 玉の木緑地		1	1	1			2			2						2										
21 横町緑地						2																		1		
22 上金沢緑地					1		2																			
23 往還東緑地										1																
24 横根山工業団地緑地										1																
25 新町緑地										2																
26 駅前ふれあい広場	7	2	2		2	2		2	2	5	2		5		1		1	2					1			
27 駅東口交通広場		2	2							5	2		5				1							1		
28 泉田川河川公園			2		2	2									1	2										
29 西山河川広場	2	2	2	1	2	2	2			2					1	2										
30 新田川河川公園			2	1	2	2	2			2					2	2								1		
	11	13	50	20	36	40	32	2	94	9	4	22	2	30	46	2	8	5	16	3	10					

委託料収入 18,672千円

◇要した経費 15,753千円（減価償却費含まず。）

《2-4》新庄市公有財産管理事業

新庄市の委託を受け、4カ所の新庄市公有財産を適切に管理した。

仁間処理場跡地

ポリテクセンター跡地

萩野児童館跡地

福田中核工業団地未分譲地（年度途中に受託）

委託料収入 2, 245千円

◇要した経費 1, 837千円（減価償却費含まず。）

3. 法人管理事業

平成24年4月、新しい公益法人制度における一般財団法人となり9年が経過したが、令和3年度も、定款に定める「スポーツを通じた豊かな市民生活の形成に寄与する」との組織理念に即し、スポーツ振興とスポーツ施設管理を一体のものとして、役職員が一丸となって適正かつ効率的に運営した。

①会議の開催

《理事会》5月27日・9月8日・1月12日・3月16日（4回）

《定時評議員会》6月22日

《評議員選定委員会》5月28日

《体育表彰選考委員会》1月12日

《スポーツ少年団本部員会》6月書面決議・3月web会議の方法により案件を決定

《強化事業費交付審査会》6月3日・6月17日

《三役会議》5月19日・6月3日・9月1日・11月1日・1月5日・3月4日（6回）

②評議員の選任 人事異動により2名が辞任し、1名が死亡退任したため補充評議員3名を選任し、20名の評議員体制となった。

【人事異動】前任・田宮真人→山科雅寛・前任・柿崎正起（中体連）→門脇 潤

【死亡退任】菅原 秀（スポ少）→元木真澄

③役員体制 理事15名、監事2名の役員体制

④新型コロナウイルス感染防止対応

8月～10月 市内の病院・保育所でクラスター発生、小学生から高校生への感染拡大。

8/6 市教育長通知 感染防止対策の徹底指示。対策として主要施設（プール含む）に非接触型体温計及び除菌スプレー設置・利用者名簿の提出・使用用具及びドア等接触部分の除菌・職員の健康管理等を継続・徹底）

1/31 市教育長通知 まん延防止等重措置の期間延長及び県内地域の指定（1/27～2/20）、市内感染者拡大により、県外からの利用制限、県内まん延防止区域からの利用制限の通知があり対応した。

3/7 市教育長通知 市内若年層の感染拡大により、高校生以下の体育施設利用3/7から21まで制限

3/22 市教育長通知 市内若年層の感染止まらず、小学生以下の体育施設利用を4/10制限延長（中学生・高校生の利用制限は解除）

4/7 市教育長通知 施設の利用制限は4/10解除。スポーツ少年団に感染防止対策のチェック体制構築と他スポ少団体との交流の慎重な検討指示

⑤諸規程の整備

《一部改正》 3件

・職員の再雇用に関する規程、組織及び事務分掌規則、臨時職員に関する規程

⑥経理

随時、公認会計士の指導を得て適正に予算を執行し、及び財産を管理に努めた。また、施設使用料など公金取り扱い、処理手順の厳守、預金通帳・公印保管の徹底など適正管理に努めた。

⑦特定資産管理

(1) スポーツ振興基金の活用を行わず、運用益117円を基金の設置及び管理に関する規程第4条に基づき繰り入れた。

法人運営基金は、軽ダンプ車2台の購入費用2,838,444円を取り崩した。また、年度末に支払準備金及び運用益から2,500,235円を基金に繰り入れた結果、前期末比で338,209円減少した。

スポーツ振興基金 6, 849, 103円 (前期末比 117円増)
法人運営基金 13, 871, 724円 (前期末比 ▲338, 209円)

(2) その他の特定資産

退職手当引当資産

職員の退職金支払に備えるため、積み立て管理している。職員の退職金の資金は、職員の退職金に関する規程第5条第1項により加入している中小企業退職金共済制度の給付額と、当該給付額で不足する額を退職手当引当資産から補てんし、規定額を給付する。

令和3年度は、定年・依願退職職員の2名に退職金を支給するため2, 585, 748円を取崩し、年度末に支払準備金及び運用益から2, 500, 150円を積立て、当期末残高は前期末比で85, 598円減少した。

退職給付引当特定資産 7, 138, 635円 (前期末比 ▲85, 598円)

(3) その他の固定資産

建物、構築物は、サイクルスポーツセンターの廃止による有姿除却により備忘価格（残存価格12円）のみの額となった。また、令和3年度に軽ダンプ車2台を購入したほか、使用の什器備品等を減価償却した結果、前期末帳簿価格と比較し、649, 464円増加した。

以上により、その他固定資産の合計価格は以下のとおり。

その他の固定資産 3, 504, 756円 (前期末比649, 464円増)

令和3年度 役員体制

理事 15 人 任期：令和2年定時評議員会終結時～令和4年定時評議員会終結 3.6.1

	役職	氏名	選出元団体・役職
1	会 長	山 科 通	新庄地区バレーボール協会会長
2	副 会 長	羽 賀 千 尋	新庄地区野球連盟副会長
3	副 会 長	吉 浦 一 幸	新庄市スポーツ少年団副本部長
4	専務理事	野 崎 勉	新庄市体育協会（学経）
5	理 事	元 木 啓 雄	新庄市スキー連盟会長
6	理 事	伊 藤 好 之	新庄市柔道連盟副会長
7	理 事	安 彦 隆 一	かむてんスポーツクラブクラブマネージャー
8	理 事	井 上 勝 人	新庄地区サッカー協会事務局長
9	理 事	齋 藤 和 彦	新庄地区バドミントン協会事務局長
10	理 事	長谷川 賢	新庄ボクシング協会会長
11	理 事	高 橋 研	新庄地区陸上競技協会副会長
12	理 事	竹 内 憲	新庄弓道連盟会長
13	理 事	佐々木 養 記	新庄地区卓球協会会長
14	理 事	柏 倉 正 人	新庄市バスケットボール協会事務局
15	理 事	伊 藤 圭 一	新庄市空手道連盟常任理事

監事 2 人 令和2年定時評議員会終結時～令和4年定時評議員会終結

1	監 事	高 橋 正 彦	新庄地区ソフトテニス連盟会長
2	監 事	吉 田 浩 志	新庄地区自転車競技連盟事務局長

評議員 20 人 任期：令和2年定時評議員会終結時～令和6年定時評議員会終結

区分		氏名	選出元団体・役職
体育協会 加盟 競技 団体	1	矢 口 敬 治	新庄地区野球連盟理事長
	2	高 階 寿 子	新庄地区ソフトテニス連盟理事
	3	泉 博 文	新庄地区自転車競技連盟理事長
	4	阿 部 太 悦	新庄ボクシング協会事務局長
	5	阿 部 文 男	新庄弓道連盟副会長
	6	西 田 昭一	新庄地区剣道連盟事務局長
	7	壹 谷 操	新庄市柔道連盟会長
	8	齋 藤 秀 二	新庄市スキー連盟副理事長
	9	丹 忠 一	新庄地区陸上競技協会理事長
	10	奥 山 貴 裕	新庄地区バドミントン協会競技・広報部長
	11	小 森 卓	新庄地区卓球協会理事兼事務局長
	12	矢 口 一 郎	新庄市ソフトボール協会理事
	13	武 田 徹 夫	新庄市武術太極拳協会会長
	14	田 中 幸 一	合気道新庄道場副道場長
地域 団体	15	大 場 和 夫	かむてんスポーツクラブ理事長
	16	森 富喜子	新庄市スポーツ推進委員協議会副会長
	17	元 木 真 澄	新庄市スポーツ少年団副本部長
学校 団体	18	門 脇 潤	新庄市中学校体育連盟副会長
	19	齋 藤 民 義	新庄市小学校体育連盟会長
学 験	20	山 科 雅 寛	新庄市健康推進担当課長